

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 14 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, and 法令根拠. Includes details for '社会を明るくする運動事業' and '人権尊重のまちづくり'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details on the '社会を明るくする運動' and associated costs.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for 手段, 対象, 意図, and various indicators (活動指標, 対象指標, 成果指標) with data for 27-31 fiscal years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing the breakdown of input costs (事業費) by source (国庫, 県, 市) and personnel costs (人件費) over time.

Table showing the internal cost breakdown (事業費の内訳) for 28 and 29 fiscal years, including categories like 11 需用費 and 08 報償費.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content (実施内容) for 29, 30, and 31 fiscal years, including a list of main activities and a directional arrow.

事務事業名	社会を明るくする運動事業	事務事業No.	10503000440	所属課	市民課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 社会を明るくする運動は、昭和26年に始まり今回で65回を数える運動である。犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動である。(ちなみに平成27年度は総理大臣の肝いりで行われた。それ以前は法務大臣による。) 更生保護事業に対する地域社会の理解が促進され、保護司会活動が活発になり活動が充実してきた。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	犯罪や非行の予防はもとより、そこから復帰する人たちが社会に復帰しやすい環境づくりを目的とした事業であり、人権的側面からも政策体系と結びついていると思われる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	法務省主催で、かつ総理大臣名で全国的に展開されている運動である。本市においても行政が中心となり推進委員会を組織している。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	犯罪や非行をなくし、明るい社会を築いてもらう事業である。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	法務省主催で全国的に展開されている運動のため、廃止・休止は出来ない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	あくまで「社会を明るくする運動」であることから、他との統廃等は出来ない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	現在の事業費は、必要最低限度であり、これ以上の削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市民が互いに明るい地域社会を呼びかけあうことを目的とした啓発運動であり、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 桜川市が主体となり保護司会桜川分区・更正保護女性会の補佐を受け実施している「社会を明るくする運動」は、更正保護活動として重要であり、今後も継続していかねばならない。
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト削減 維持 増加 成果向上 維持 低下
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
---	---